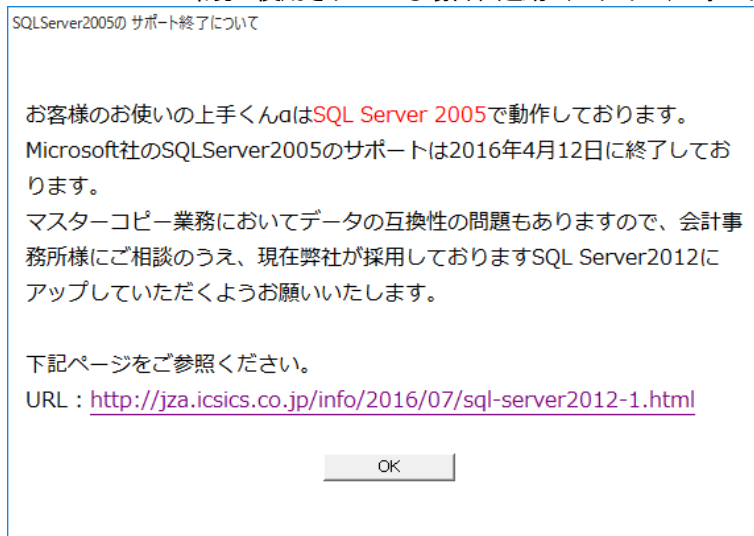


●学校法人α Version 4.301

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 国税庁の様式変更に伴い、「有価証券の内訳書」「源泉所得税預り金の内訳書」の様式を変更しました。
- ◆ 月指定残高問い合わせにおいて、「推移貸借」・「推移損益」に対応しました。
- ◆ 過年度マスターの 10 年保存に対応しました。
- ◆ SQL Server2005 環境で使用されている場合、起動（ログイン）時に下記メッセージを表示します。

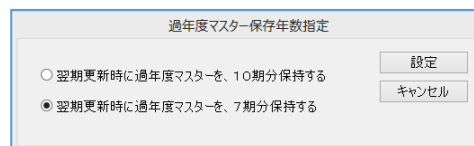


- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“学校法人α (VERSION:4.301) の変更点”を参照してください。

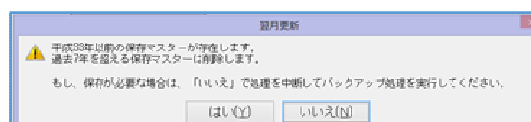
●共通処理／ユーティリティ Version 2.020

- ◆ 業務選択画面の各種設定／業務設定に“過年度マスター保存年数の指定”項目を追加しました。各業務内の過年度マスターの保存年数（10 期分、7 期分）の切り替えの設定が行えます。（設定を切り替えた場合、一度、業務終了を行ってください。）
 - ・当期分のプログラムから当設定は有効となります。
 - ・初期値：10 期分保存。
 - ・保存年数の切替は個々の業務ではなく、全ての業務が共通の設定となっています。



【ご注意】

- ・過年度マスターが 10 期分の保存があり、当設定で 7 期分に設定した場合、翌期更新を行うと、7 期以上の超過分のマスターを削除するかの注意メッセージが表示されます。



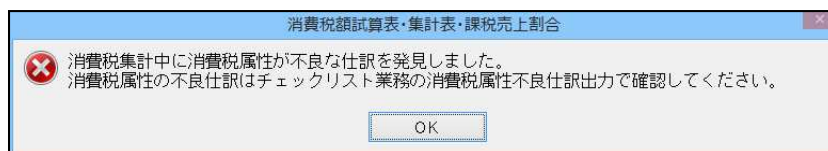
学校法人a (VERSION:4.301) の変更点

改良・修正 (学校法人 d b)

I. 全般

1) 新会計基準マスター

- ・従来学校マスターから新会計基準までコンバージョンしたマスターで、「基本金組入額」仕訳があると、翌期更新や消費税関係業務で「消費税属性不良仕訳」として判定されていたのを修正しました。
※チェックリストを出力しても「該当する仕訳がありません！」と表示していました。



- ・旧会計基準で「授業料 前受金」等の前受金科目を拡張後、新会計基準にコンバージョンを行うと、仕訳入力で「資金調整」ダイアログが表示されないことがあったのを修正しました。

II. 登録・入力

1) 収支集計・純額対応科目登録

①純額対応科目メンテ

- ・右上の会社選択から別の会社に切り替えるとアプリケーションエラーになることがあったのを修正しました。

III. 出力

1) 試算表

①資金収支計算書

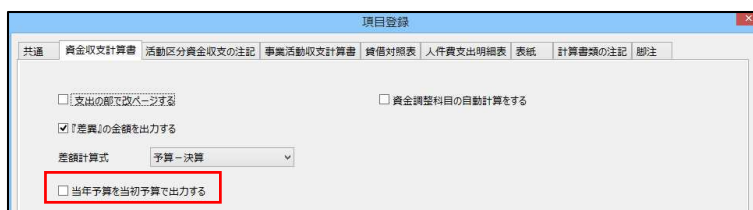
- ・「資金調査科目のみ自動計算する」で出力すると、【その他の支出】の「手形債務支払支出」が出力されていなかったのを修正しました。

IV. 決算

1) 決算書

①F6 項目登録

- ・資金収支計算書／事業活動収支計算書（消費収支計算書）／人件費支出明細表タブに「当年予算を当初予算で出力する」を追加しました。（どの帳票で選択しても共通で使用します。）
予算欄に補正・流用前の当初予算を出力します。

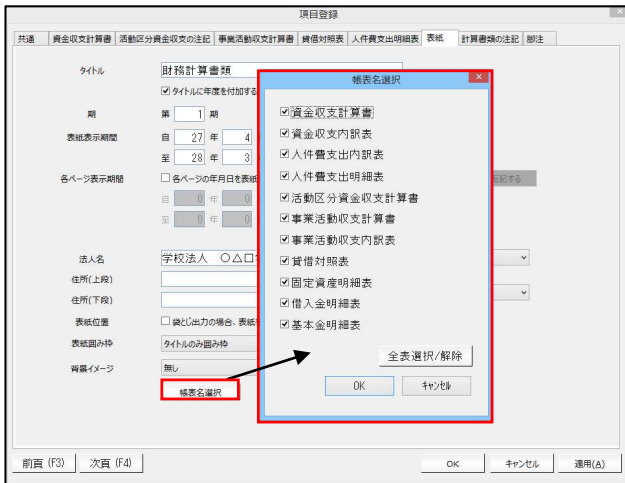


- ・表紙タブに「帳票名選択」ボタンを追加しました。
表紙に出力する帳票名を選択します。

※「出力帳票の選択」と表紙の「帳表名選択」は連動していません。

各々で選択してください。

※「人件費支出明細表」は提出書類ではありませんが、表紙にも出力できるようにしています。
F12 人件費支出で、「出力帳票の選択」で出力可能な時のみ選択可能です。



②印刷

・表紙に各帳票出力時のタイトルと同様に、出力用特殊名称で出力するようにしました。

※「固定資産明細表」「借入金明細表」「基本金明細表」は出力用特殊名称に無いため対象外です。

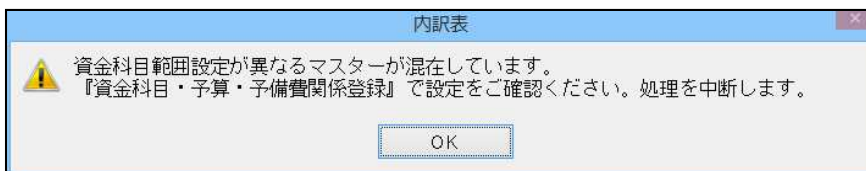
・活動区分資金収支の注記の「前受金収入」に「授業料前受金収入」しか集計・出力されていなかったのを修正しました。

2) 内訳表

①印刷

・一部タイトル項目や縦項目で決算書名称が使用されていなかったのを修正しました。

・法人別で資金科目範囲設定が異なるマスターが混在している場合に下記のメッセージを表示します。



3) 予算書

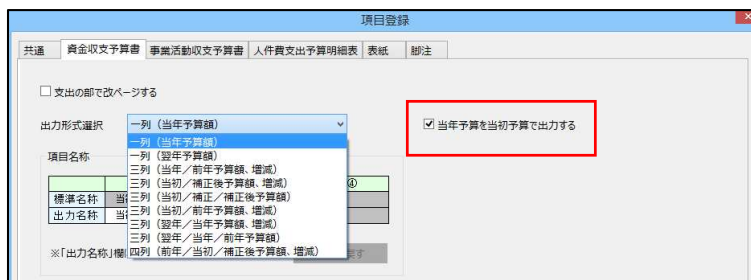
①F6 項目登録

・資金収支計算書／事業活動収支計算書（消費収支計算書）／人件費支出明細表タブに「当年予算を当初予算で出力する」を追加しました。（どの帳票で選択しても共通で使用します。）

下記の出力形式選択時のみに選択できます。

一列（当年予算額）、三列（翌年／当年予算額、増減）、三列（翌年／当年／前年予算額）

予算欄に補正・流用前の当初予算を出力します。



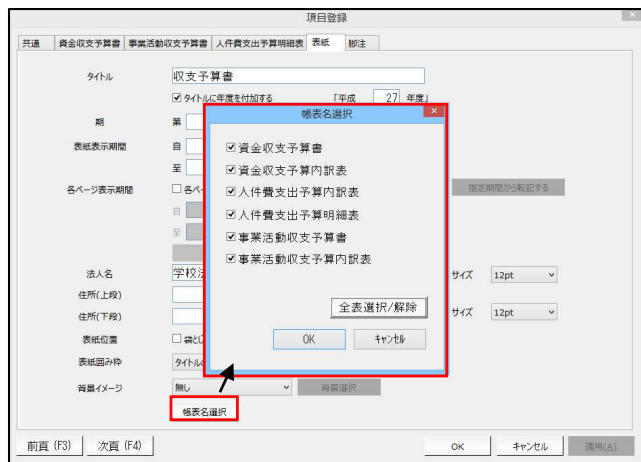
・表紙タブに「帳表名選択」ボタンを追加しました。

表紙に出力する帳票名を選択します。

※「出力帳票の選択」と表紙の「帳表名選択」は連動していません。

各々で選択してください。

※「人件費支出予算明細表」は提出書類ではありませんが、表紙にも出力できるようにしています。
F12 人件費支出で、「出力帳票の選択」で出力可能な時のみ選択可能です。



②印刷

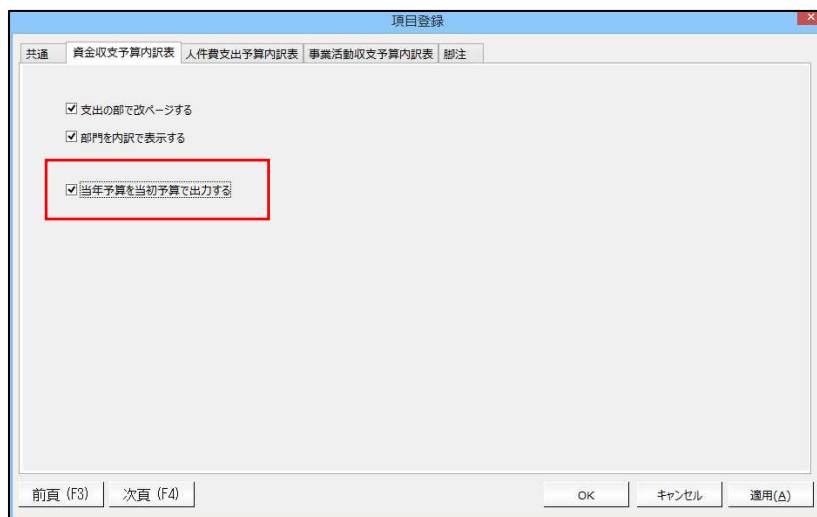
- ・表紙に各帳票出力時のタイトルと同様に、出力用特殊名称で出力するようにしました。
- ・一部タイトル項目や縦項目で決算書名称が使用されていなかったのを修正しました。

4) 予算内訳表

①F6 項目登録

- ・資金収支予算内訳表／人件費支出予算内訳表／事業活動収支予算内訳表（消費収支予算内訳表）タブに「当年予算を当初予算で出力する」を追加しました。（どの帳票タブで選択しても共通で使用します。）

予算欄に補正・流用前の当初予算を出力します。



②印刷

- ・一部タイトル項目や縦項目で決算書名称が使用されていなかったのを修正しました。

5) 附属明細書

①固定資産明細表／基本金明細表

- ・金額の発生が無くても出力できるようにしました。

「基本金明細表」は、帳票の形式：【行詰めしない】場合のみ出力します。

※「借入金明細表」は従来から対応しています。

改良・修正

I. 導入・更新

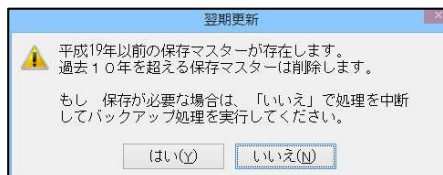
1) 翌期更新

① 翌期更新

- ・ 過年度マスターの 10 年保存に対応しました。

従来は 7 年分を超える過年度マスターがある場合は、更新時に削除していましたが、最長 10 年まで保存するようにしました。

10 年を超える場合は右記のメッセージを表示します。



※業務メニューの各種設定の「過年度マスター保存年数の設定」で、従来通りの 7 年までの保存に変更することも可能です。(税務業務と共通)

II. 登録・入力

1) 残高問い合わせ

① 「推移貸借」「推移損益」

- ・ 推移表タイプ「推移貸借」「推移損益」を追加しました。(「月指定」時のみ可能)

残高	収支	比較残高	推移貸借	推移損益
	勘定科目		4月度	5月度
土	地		105,021,000	105,021,000
建	物		514,553,473	514,553,473

残高	収支	比較残高	推移貸借	推移損益
	勘定科目		4月発生	5月発生
入	学 金収入		30,000,000	0
教	材 費収入		10,000,000	0
補	講 料収入		0	3,000,000

[F8 発生/累計] で、発生表示か累計表示かを切替えます。

発生表示：項目名に「○月発生」、左下に [発生] と表示します。

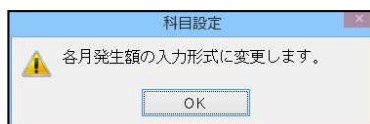
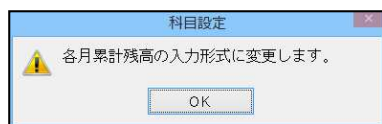
累計表示：項目名に「○月度」、左下に [累計] と表示します。

2) 科目設定・残高登録

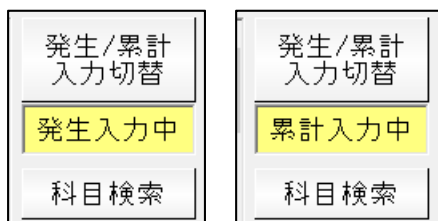
① 残高登録

- ・ 「発生入力」「累計入力」のボタンを「発生/累計 入力切替」に変更しました。

「発生/累計 入力切替」ボタンをクリックすると下記のいずれかのメッセージを表示します。



発生入力の時は“発生入力中”の文言を表示し、累計入力の時は“累計入力中”の文言を表示します。



②摘要登録／摘要辞書登録

- ・最終行番号欄にフォーカスがある状態で、Enter キーを押すと、自動で番号を割り振るようにしました。使用している最終番号の次の番号を割り振ります。

299	新宿アルタ
301	虎の門第2ビル
302	

3) チェックリスト

①Excel 出力

- ・1行出力時に、数行毎に摘要の頭に半角スペースを付加して出力していたのを修正しました。

4) 新規会社登録・修正・削除

①会社削除

- ・過年度マスター10年保存対応に伴い、会社選択後に「F8 会社削除」を選択した時の画面を10年分表示するようにしました。

マスター削除

削除する年度を選択してください。

当年度 (平成28年04月01日～平成29年03月31日)

過年度

平成28年03月分 平成23年03月分

平成27年03月分 平成22年03月分

平成26年03月分 平成21年03月分

平成25年03月分 平成20年03月分

平成24年03月分 平成19年03月分

OK キャンセル

Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

①部門元帳

- ・下記の様式で【種別：部門元帳】選択時に「年度」が出力されていなかったのを修正しました。
2段出力形式（白紙・A4版）[区切り線]/2段出力形式（白紙・A4版）[区切り線]番号/
コクヨ形式（印刷・A4版）

2) 比較・推移表

①3-1.比較貸借推移表

- ・「決修月を単独表示する」に対応しました。
「増減額を出力する」「各月の比率を出力する」との併用はできません。

出力帳表の選択

帳表の種類 3-1.比較貸借推移表

用紙サイズ A4

出力期間の指定

出力期 当期

出力月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決
28年03月31日 決

カンマ表示 金額・比率を縮小文字で出力する

当期を基準とした順で出力する

資金調整科目の自動計算をする

余白に継続出力する

コメント出力する

合計欄設定 期末残高 増減額を出力する

決修月を単独表示する 各月の比率を出力する

仕訳未入力月空欄出力

3) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①消費税額試算表

- ・特別損益科目で、同一科目に「内税」「非課税」「不課税」仕訳が混在していて、「課税取引期間計より消費税額を算出する（総額）」にチェックを付けると、消費税額等の金額が倍になっていたのを修正しました。
- ・未入力枝番がある場合に、「枝番表示を行う」「課税取引期間計より消費税額を算出する（総額）」にチェックを付けると、科目に未入力枝番残が倍で集計されていたのを修正しました。

IV. 決算

1) 勘定科目内訳書

国税庁の様式変更に伴い、「有価証券の内訳書」「源泉所得税預り金の内訳書」の様式を変更しました。（電子申告処理Ⅱは Ver.16.001～で対応済みです。）

①有価証券の内訳書

- ・期末現在高の金額の項目名欄が2段になっていたのを1つの項目に結合しました。

<変更前>

有価証券の内訳書			
区分・種類・銘柄	期 末 現 在 高		
	数 量	金 額	金 額
			円
			円

<変更後>

有価証券の内訳書			
区分・種類・銘柄	期 末 現 在 高		
	数 量	金 額	
		円	
		円	

②源泉所得税預り金の内訳

- ・「年月日」の文言を「支払年月」に変更しました。

<変更前>

源泉所得税預り金の内訳		
年 月 日	所得の種類	期 末 現 在 高
年 月分		円

<変更後>

源泉所得税預り金の内訳		
支払年月	所得の種類	期 末 現 在 高
年 月分		円

③棚卸資産（商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品）の内訳書

- ・「欄外登録」の文言を「棚卸方法登録」に変更しました。

行貼付	行挿入貼付	棚卸方法登録
前様式	次様式	⑤

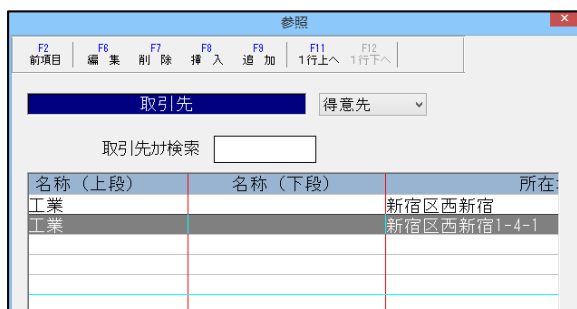
④受取手形の内訳書

- ・受取手形の自動挿入小計行に科目名を表示するようにしました。

受取手形の内訳書			
振 出 人	振出年月日 支払期日	支払銀行名	金 額
㈱日本銀行	27. 4. 30		777,777
㈱Dole	27. 4. 30		888,888
㈱日本ICS	28. 5. 19		4,000,000
【小計（受取手形）】			5,666,665

⑤F9参照

- ・下記様式で「取引先・金融機関を自動登録する」に対応しました。
貸付金及び受取利息の内訳書
借入金及び支払利子の内訳書
雑益、雑損失等の内訳書
雑損失等の内訳書
- ・「取引先・金融機関を自動登録する」の状態、住所検索可能な項目で、Home 住所検索して、転記後に番地等を追記した時に、下記のように検索後転記したものと、追記後のものが2重に登録されていたのを追記後のものだけを登録するようにしました。



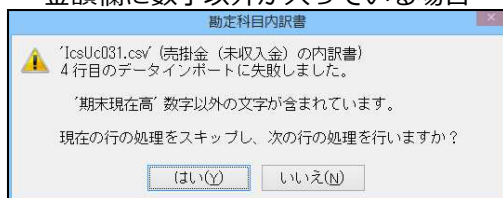
⑥印刷

- ・表紙、各様式の決算期間の西暦出力に対応しました。
決算書の F6 項目登録：詳細（様式）タブの暦年表示を「西暦」にして、表紙の決算期間を西暦で印刷するようにしていると内訳書も連動して西暦表示になります。
- ・表紙は西暦表示で出力するようになっていましたが、「平成」の年号が消えていなかったのを修正しました。

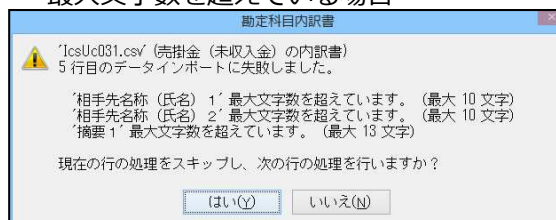
⑦ファイル/データインポート

- ・インポートに失敗した場合、列名と原因を表示するようにしました。

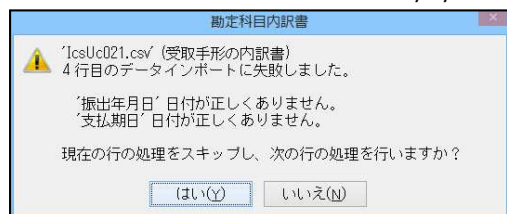
金額欄に数字以外が入っている場合



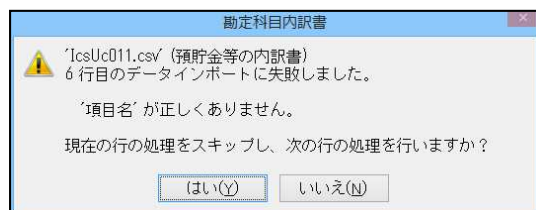
最大文字数を超過している場合



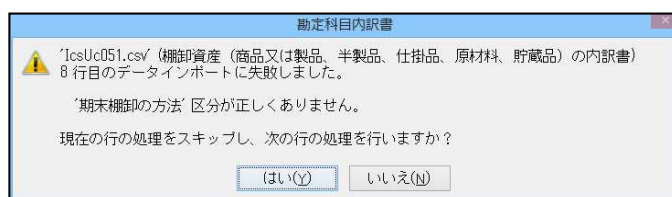
日付の形式が正しくない時 2016/5/3 と入力している場合



「項目名」が規定通りでない場合



「期末棚卸の方法」区分名が規定通りでない場合



【データインポート補足】

「項目」の記述

※「項目」は下記のように記述してください。
 データの開始行（項目名行）には[項目]を入力します。
 データ行には[明細]・[小計]・[中計]を入力します。※計の金額は自動計算します。
 注：[]は半角括弧を使用します。（[]半角括弧以外のデータはインポートしません。）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	帳票名	預貯金等の内訳書							
2	会社名	日本サンプル株式会社							
3	[項目]	金融機関名	支店名	種類	口座番号	期末現在高	摘要1	摘要2	
4	[明細]			現金		225000			
5	[明細]			小口現金		56000			
6	[小計]								
7	[明細]	三菱東京UFJ銀行	赤坂支店	普通預金		159000			
8	[小計]								
9	[明細]	三井住友銀行	新宿支店	当座預金		30000			
10	[小計]								
11	[中計]								

欄外登録有りの帳票

- ⑤ 棚卸資産（商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品）の内訳書（棚卸方法登録）
- ⑨ 買掛金（未払金・未払費用）の内訳書（欄外登録）

欄外の開始行には[欄外]を入力します。
 欄外の項目名には[]は不要です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	帳票名	棚卸資産(商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品)の内訳書								
2	会社名	日本サンプル株式会社								
3	[項目]	科目	品目1	品目2	数量	単位	単価	期末現在高	摘要1	摘要2
4	[明細]	商品			1500	個	10000			
5	[明細]	製品			2000	個	500			
6	[明細]	貯蔵品			350	個				
7	[欄外]	期末棚卸の方法	登録名称	棚卸を行った時期						
8	内訳	A								
9	内訳	C			H27.6.30					
10										

	A	B	C	D	E	F	G
1	帳票名	買掛金(未払金・未払費用)の内訳書					
2	会社名	日本サンプル株式会社					
3	[項目]	科目	相手先名称(氏名)1	相手先名称(氏名)2	相手先所在地(住所)1	相手先所在地(住所)2	期末現
4	[明細]	買掛金	杉並口薬局		杉並区阿佐谷北		3000
5	[明細]	買掛金	松本〇〇商会		横浜市鶴見区市場西中町		1500
6	[小計]						
7	[明細]	未払金	大黒〇〇(株)				
8	[小計]						
9	[中計]						
10	[欄外]	支払確定年月日	期末現在高				
11	未払配当金	H28.2.29	500000				
12	未払役員賞与	H28.3.1	600000				
13							

⑧ 翌期更新（勘定科目内訳書）

・翌期更新画面に「データを保管へ移動」についての説明文を表示するようにしました。

「データを保管へ移動」にチェックを入れるとその様式のデータが保管データとなり入力画面に表示されなくなります。

保管データを元に戻す場合は保管メニューの保管参照から戻すを選択してください。

以上